



全港湾 20 春闘〔終報〕

闘争分会妥結額平均 3、392 円（－515 円）

速報分会妥結額平均 3、623 円（－481 円）

20 春闘個別賃金交渉は依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、書面交渉のなど工夫を凝らした結果、全闘争分会の約 7 割強の分会に有額回答が示され、その内の約 9 割強が妥結するに至った。しかし、他労組において回答が示されていないことの影響もあり、有額回答が示されていない分会もあり、20 春闘の終結にはまだまだ時間を要するものと思われる。だが、6 月に入り夏季一時金交渉も始まっていることから、20 春闘の回答集約については、6 月 2 日・3 日開催の中央執行委員会を以て最終集約とすることが確認された。20 春闘の最終集約は以下の通り。

6 月 3 日、最終集計

闘争分会の回答状況：318 分会中 228 分会（72%）に有額回答が示され、回答額平均は 3、372 円、率で 1.17%、昨年同時期と比べて 322 円減となった。その内 217 分会（95%）が妥結し、妥結額平均は 3、392 円となった。昨年の妥結額平均 3、907 円を 515 円下回る結果となった。

職種別の回答状況：港湾の回答額平均は 3、703 円（昨年同時期の回答額 3、990 円を 287 円下回った）、トラックの回答額平均は 2、079 円（昨年同時期の回答額 2、486 円を 407 円下回った）、一般の回答額平均は 2、132 円（昨年同時期の回答額 2、978 円を 846 円下回った）。

速報分会回答状況：140 分会中 112 分会（80%）に有額回答が示され、回答額平均は 3、611 円、率で 1.23%となった。その内 108 分会（96%）が妥結し、妥結額平均は 3、623 円となった。昨年の妥結額実績 4、104 円を 481 円下回る結果となった。

港湾関係：全倉運の回答状況

5 月 8 日現在の集計では、加重平均で 4、807 円、1.85%となっている。

日港労連、検数労連、検定労連（シンケンは 4、181 で大筋合意）、大港労組の回答額は現段階では示されていない。

連合の回答状況

5 月 11 日発表の第 5 回回答集計では、平均賃金方式で 5、683 円、昨年同時期より 534 円の減となっている。

300 人未満の中小組合では、平均賃金方式で 4、725 円、昨年同時期より 200 円の減となっている。

国民春闘共闘の回答状況

6 月 1 日発表の第 7 回回答集計では、加重平均で 6、070 円、2.12%、昨年同時期より額では 205 円の増、率では 0.08%の増となっている。

日本経団連の回答状況

5 月 21 日発表の第 1 回回答集計では、加重平均で 7、297 円、昨年実績より額は 948 円の減となっている。

以上